



2014年11月号

◆ サイエンスやまぐち2014
第68回山口県科学作品展 ただいま開催中！
10月31日（金）～11月14日（金）

今年も県内各地域の審査を通過した小・中学生、高校生の科学作品232点の出品があり、その中から95点の入賞作品が選ばれました。さる10月31日に表彰式が行われ、一般公開が始まり、素晴らしい作品が多数展示されています。これからの自由研究などの参考になると思いますので、ぜひご来館ください。（開場時間9：00～16：30、休館日11月10日）

なお、今年度の科学作品展は、博物館本館が休館中ですので、会場が変更になっています。

- 自然の部（171点展示）・・・ 山口県立山口博物館 別館 2階講座室
- 創造の部（61点展示）・・・ 山口県旧県会議事堂 1階 山口きらら倶楽部



「自然の部」会場



表彰式の様子



「創造の部」会場

審査員の講評

○自然の部

数年にわたる研究作品が多く、夏休みの宿題といった一過性のレポートでは、県のコンクールまで到達するのは難しいです。身近な生活の中から生まれた疑問や不思議について、観察・実験という具体的な体験を大切に、地道で継続的に取り組んだ作品が多くみられました。最近の傾向として、環境問題や自然災害に関する内容が増えてきています。

○創造の部

何年間も発明工夫に取り組んでいる作品が目にとまりました。中学校、高等学校の出品数が近年減少していることが残念でしたが、各作品においては、その特徴的な動きを作り出すために、磁石、モーター、電磁石、空気圧などを効果的に利用していました。遊園地や水族館などを表現した作品や、ゲーム性のある自分でも楽しめそうな作品が多くありました。

◆ サイエンスやまぐち2014
第68回山口県科学研究発表会
11月11日（火）9：45～ 県教育会館にて

◆ 出前授業で、歴史教室を開いています。

2018年の明治維新150周年を控え、山口県でも関連行事が計画・開催されています。そこで、明治維新で活躍した山口県出身の木戸孝允の一生にスポットを当てて、教科書に記載されている幕末から明治にかけての出来事を追っていく学習プログラムをつくってみました。山口博物館に所蔵されている肖像画をはじめとする各種資料を映像で見たり、人物関係図を作成したりすることで、歴史が人々の関わり合いの中でつくりだされていくことを感じてほしいと思います。

また、「落款印づくり講座」に登場する人物も紹介していますので、「歴史教室」と「落款印づくり講座」を組み合わせた学習プログラムとして利用することもできます。



テーマ展

きらり山口！人物伝

11月27日（木）～12月4日（木）
山口県旧県会議事堂 1階 山口きらら倶楽部
（山口市滝町1-1 山口県庁構内）



クリスマスプレゼント

周南ゆめ物語 ～かがくスクウェア～

12月7日（日）
周南地域地場産業振興センター
（周南市鼓海2丁目118-24）



山口博物館も出展します。

山口県立山口博物館は、本館展示室から検出されたアスベストに必要な措置を施すまでの期間、臨時休館しています。皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありません。開館時期など今後の予定が決まり次第、速やかにご連絡いたします。

■お問い合わせ■

詳しくは山口博物館のホームページ
(For School)を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2
TEL 083-922-0294
FAX 083-922-0353